

令和7年度鹿児島県茶品評会及び経営改善コンクール審査結果

(公社)鹿児島県茶業会議所

令和7年9月5日

1 審査日程

日時 令和7年9月3日

場所 鹿児島県茶市場

2 茶業品評会の区分及び審査項目

県内で令和7年度に生産された一番茶の荒茶について、下記の部門で審査した。

(1) 茶品評会

普通煎茶及び深蒸し煎茶の区分で、それぞれについて外観、水色、香気、滋味を審査した。

(2) 茶経営改善コンクール

上記(1)の項目のほかに、市場性、経営調査票、経営確認調査の項目を加えて審査した。

3 出品点数

(1) 茶品評会 普通煎茶の部：101点(17市町) 深蒸し煎茶の部：102点(8市町)

(2) 茶経営改善コンクール 31点(5市町)

4 審査員

県農業開発総合センター茶業部の内村浩二部長を審査長に、県経済農協連、県茶商協など13名の審査員により審査した。

5 審査結果

(1) 茶品評会

普通煎茶の部、深蒸し煎茶の部ごとに一等8名のほか、二等及び三等の入賞者を決定した。

普通煎茶の部 一等1席：川原製茶 川原三郎(南九州市)

深蒸し煎茶の部 一等1席：福岡 道夫(錦江町)

(2) 茶経営改善コンクール

最優秀賞1名のほか、優秀賞及び優良賞を決定した。

最優秀賞：崎原 一博(薩摩川内市)

(3) (1)、(2)の入賞者へ茶業会議所会頭賞を贈る。

6 特別賞

一等1席と最優秀賞の3名へ農林水産大臣賞が贈られるほか、一等及び優秀賞の入賞者各7名へ特別賞が贈られる。

7 産地賞

各部門の市町村単位の入賞者上位5点の合計点により競う。

(1) 茶品評会

普通煎茶：南九州市 深蒸し煎茶：錦江町

(2) 茶経営改善コンクール 日置市

8 審査概要

本年の一番茶は、1～2月の平均気温が低く推移し、3月の気温が平年よりやや高く推移したものの、萌芽が遅かったことから、昨年より5～7日程度遅い摘採開始となりました。4月以降については、晴れ間も多く、適度な降雨もあったことから、新芽の生育は順調に進みました。

このような中、出品された茶の多くは適期に摘採され、また丁寧に製茶された良質なものが多く、本県茶生産者の熱意と技術レベルの高さが窺えました。

(1) 茶品評会

ア 普通煎茶の部

上位から中位まではレベルが高く、特に上位は、細よれで揃いが良く、光沢が有り、若芽のすがすがしい香りとうまみを強く感じさせる秀品揃いで、本県の技術レベルの高さが窺えました。

イ 深蒸し煎茶の部

上位から中位は、黄色みを帯びた鮮緑色でつやがある外観で、水色は青みと濃度感があり、濃厚なうま味を備えたものでした。

(2) 茶経営改善コンクール

上位の出品者は、本県の特徴である機械化体系を導入し省力化を進めつつ、安心・安全な茶づくり等に努め、安定した経営を行っており、製品の品質や市場評価についても高い評価を受けました。